

## 創域理工学研究科 先端物理学専攻 修士課程 科目系統図

必修科目 (20単位)

修士課程	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
	先端物理学 特別研究 1A	先端物理学 特別研究 1B	先端物理学 特別研究 2A	先端物理学 特別研究 2B
	先端物理学輪講 1A	先端物理学輪講 1B	先端物理学輪講 2A	先端物理学輪講 2B

選択科目専門科目 (8単位以上を修得)

素粒子・原子核・ 宇宙物理学	場の量子論	素粒子物理学特論
	宇宙物理学特論	天体物理学特論
	ゲージ場の理論	
量子機能性・ ソフトマター物理学	固体物理学特論	表面物理学特論
	低温物性特論	分子物性科学特論
	統計物理学特論	非平衡確率モデル特論
	応用光学特論	

選択科目の履修順序に特に条件はない。

- 自分の専門分野に関連の強いものを中心とし、加えて、他専攻の専門科目を選択して履修することもできる（修了要件単位に算入）。
- 選択科目はどの年次に履修してもよいが、修了後進路の選択前にある程度を履修することを推奨する。

教養科目 (2単位以上を修得)

- 2単位以上は教養（共通）の科目で修得すること。
- 2単位を超えて修得した単位は修了要件単位に含めない。

- ・ 人材育成に関する目的: [https://www.tus.ac.jp/about/graduate\\_school/purpose/](https://www.tus.ac.jp/about/graduate_school/purpose/)
- ・ 3つの方針(卒業認定・学位授与の方針, 教育課程編成・実施の方針, 入学者受入れの方針): [https://www.tus.ac.jp/about/graduate\\_school/policy/](https://www.tus.ac.jp/about/graduate_school/policy/)